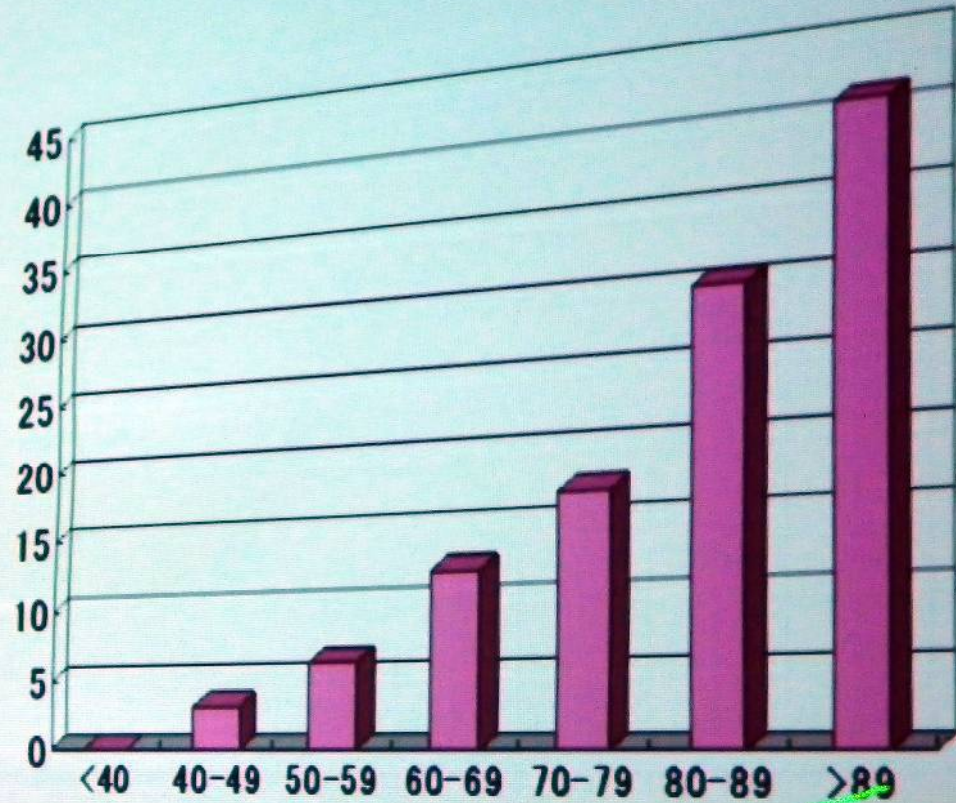
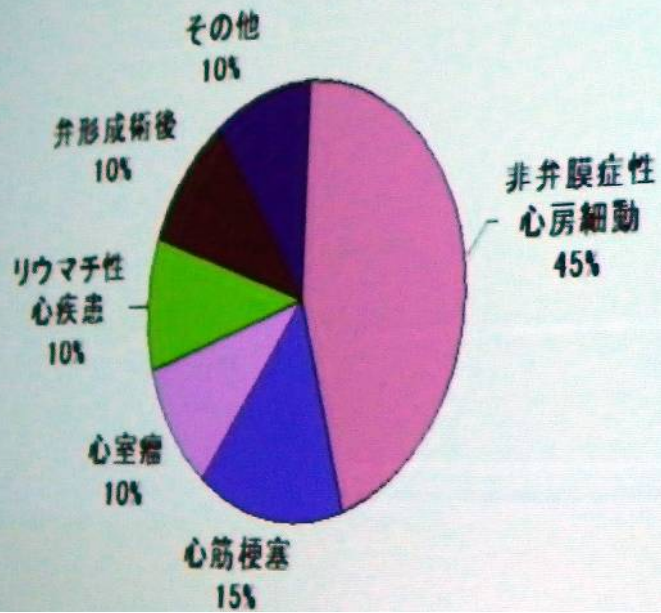


# 心房細動から脳塞栓症

## 脳梗塞患者における心房細動の割合

- 脳梗塞に占める心原性脳塞栓症は6-30%
- 心原性脳塞栓症の内訳



# 心房細動患者の治療方針

- 自覚症状の出現・QOLの低下
  - 症状をなくすには洞調律維持をめざす
  - 心拍数調節でも症状は軽減
  - 症状がなければ？
- 心機能の悪化・心不全
  - 洞調律維持が望まれる
  - 心拍数調節は必要
  - 抗不整脈薬の副作用に注意
- 脳梗塞の発症
  - ワーファリンによる抗凝固療法

201

- さらに抗不整脈薬を用いない心房細動治療

# 心房細動における抗血栓療法

非弁膜症性心房細動

僧帽弁狭窄症  
もしくは  
機械弁

TIAや脳梗塞  
の既往

年齢  $\geq 75$ 歳  
高血圧  
心不全  
 $\%FS < 25\%$   
糖尿病

心筋症  
 $65 \leq$ 年齢  $\leq 74$   
女性  
冠動脈疾患  
もしくは  
甲状腺中毒

リスク  $\geq 2$ 個

リスク = 1個

ワルファリン  
INR 2.0 ~ 3.0

ワルファリン  
70歳未満 INR 2.0 ~ 3.0  
70歳以上 INR 1.6 ~ 2.6